

リニア中央新幹線 三重・奈良・大阪ルートの実現

【担当省庁】 国土交通省

国にお願いすること

1. 「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定

- 駅周辺でのまちづくりの具体的な検討や事業促進に向けた環境整備を着実に進めるため、「奈良市附近」の駅位置及びルートを早期に確定すること。
- ルートは、リダンダンシーの観点から、整備計画通り、東海道新幹線とできる限り離れた「奈良市附近」を経過地とする、三重・奈良・大阪ルートとすること。

2. 2037年の全線開業に向けた早期事業化

- リニアの効果を広く全国に行き渡らせるため、一日も早い全線開業が必要。
- 2037年の全線開業(8年間前倒し)を確実なものとするため、名古屋～大阪間の早期事業化に取り組むこと。

3. 具体的な手続きの早急な着手

- 「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートを早期に確定するため、速やかに名古屋～大阪間の環境影響評価手続きに着手されるよう、国において調整すること。
- 名古屋～大阪間の車両基地は、大阪のターミナル駅の近傍である奈良県内に設置すること。

【期成同盟会等の活動状況】

- リニア中央新幹線建設促進期成同盟会(全国) 総会決議
令和2年5月 同盟会総会(書面開催)
- リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会 総会決議
令和2年5月 奈良県同盟会総会(書面開催)
- 三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会 大会決議
令和2年9月(予定) 三重・奈良・大阪建設促進大会

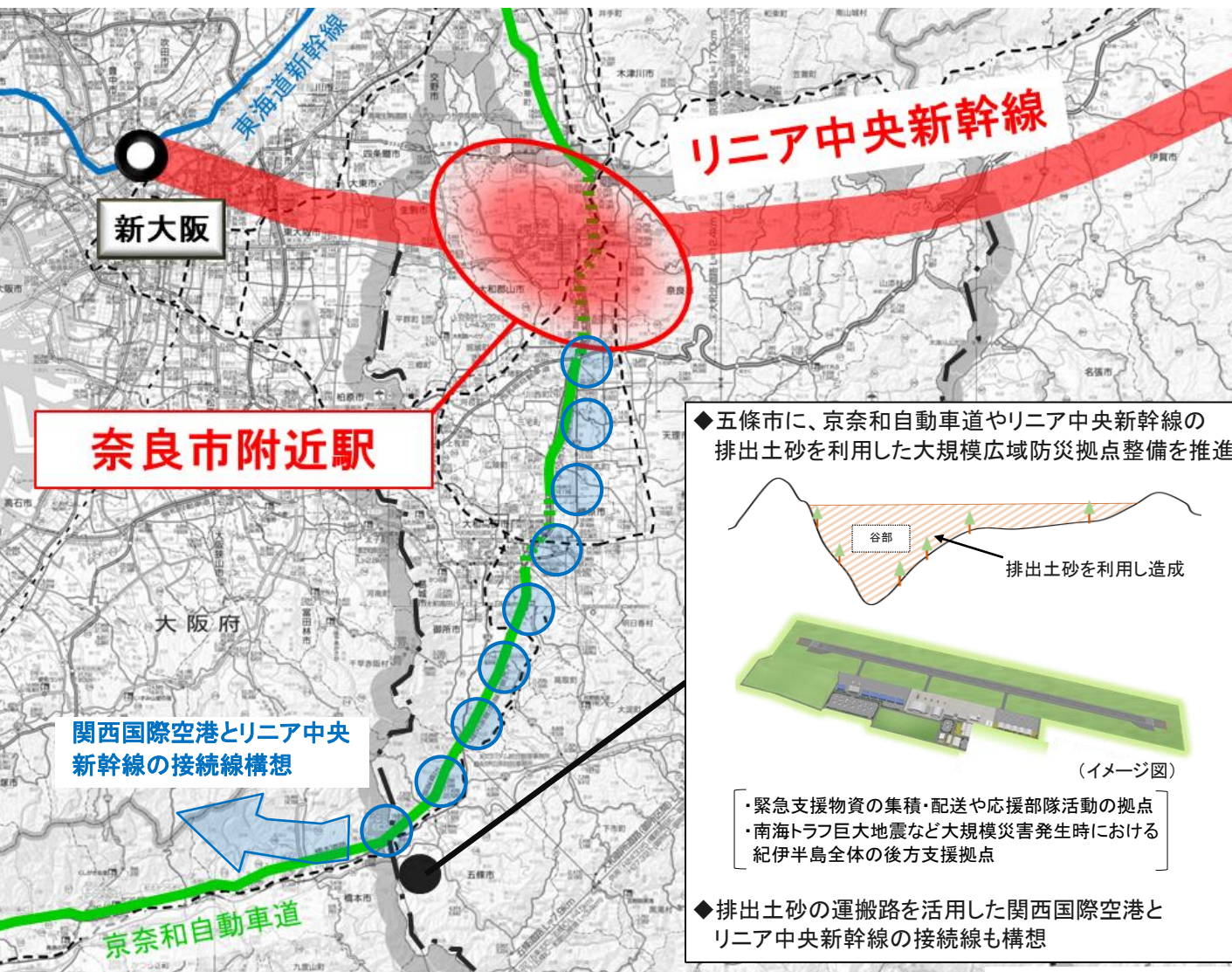
□ **奈良県は、リニア中央新幹線整備の早期実現に、以下の取り組みを通じ全面的に協力**

- ・用地取得
- ・工事に伴う排出土砂の処分地確保
- ・地元住民の理解
- ・リニア駅を中心としたまちづくり



リニア駅周辺のまちづくり（イメージ）

□ **リニア中央新幹線と一体的に進めるプロジェクト構想**



※ 近畿地方整備局発行の管内図を奈良県で加工

「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートを早期確定した上で、地元協力のもと事業を推進し、2037年の全線開業を確実に